

地歴公民(地理) 東京大学 (前期) 1/3

第1問

5 10 15 20 25 30

設問A

(1)大航海時代以降, トウモロコシなどの新大陸固有の作物が旧大陸に, 牛などの旧大陸の家畜が新大陸に, それぞれ拡大した。

5 (2)ヨーロッパで始まった産業革命以降, 化石燃料が大量消費され, 放出された炭素が含まれる堆積物が地中に増加した。

(3)冷戦下で, 米ソなどによる核実験が世界各地で実施されたため。

(4)Aーアルミニウム Bーコンクリート Cープラスチック

(5)石油を原料とし, 製造過程での排ガスが大気汚染を引き起こし, プラスチックごみにより土壌や海洋の生態系に悪影響を及ぼす。

10 設問B

(1)メタン, 米

(2)小麦の収穫後で雨季の始まる前の5月, および米など夏作物の収穫後で乾季の始まる11月にそれぞれ野焼きが行われるため。

15 (3)火力発電所からの煤煙, 自動車の排ガス, 薪炭材の利用による煙が, 夏の南西モンスーンで運ばれ, 山地にぶつかり上昇するため。

地歴公民(地理) 東京大学 (前期) 2/3

第2問

5 10 15 20 25 30

設問A

(1)アーベトナム イー韓国 ウーチリ

(2)世界的な漁獲量の停滞と、新興国の経済成長などによる需要増大を背景に、先進国企業が輸出向けの養殖業に進出したため。

5 (3)Aーコイ, 湖沼 Bーエビ, マングローブ林

Cーサケ, フィヨルド

(4)過剰なエサや薬品の投与などにより水質汚濁や生態系の破壊が進んだため、稚魚を自然界へ放流する栽培漁業への転換を図る。

設問B

10 (1)生産責任制の導入により農民の生産意欲が向上したこと。

(2)社会主義体制崩壊に伴う経済悪化により農業補助金削減が行われ、農家が資金不足で肥料購入が困難になったため。

(3)経済発展に伴う肉類消費の増大による飼料需要の増加に対応し、食料安全保障の観点から国際情勢に影響されず安定供給を図る。

地歴公民(地理) 東京大学 (前期) 3/3

第3問

5 10 15 20 25 30

設問A

(1)扇状地

(2)山地の尾根には針葉樹林が、谷には荒地がみられる。

5 (3)集中豪雨に伴う河川流量の急増により土石流が発生し、谷沿いの植生が失われた。それにより土砂が流出しやすくなり、新たな土石流による下流の住宅地の被災を防ぐために砂防ダムが建設された。

(4)都市化に伴う人口流入により住宅需要が増加するなかで、交通利便性が高く緩傾斜の開発しやすい土地が広がっていたため。

設問B

10 (1)A－富山県 B－沖縄県 C－北海道 D－東京都

(2)積雪の多い北海道では屋根からの落雪被害を防止するため。台風
の襲来が多い沖縄県では暴風による屋根の破損を防ぐため。

(3)大都市圏への人口流入に伴う地価の上昇により、低層の木造住宅
地区などが中高層の非木造住宅地区へと変化したため。

15 (4)核家族化に伴い世帯規模が小さな住宅が増え住宅総数は増加したが、若年層の流出が顕著な地方圏では、残された親世代の高齢化に伴う介護施設や子世帯への転居、死亡により空き家化したため。